

この度、平成24年4月12日
岐阜県医師会 東日本大震災対策本部
解散式におきまして、
被災地での医療活動の功績に対して
感謝状を頂きました。

Aチーム

医師(村井敏博)、看護師(祖父江純子・粥川良子)、事務(山田源久・大田雅也)の計5名で、西白河郡の西郷村で避難する方々(約500名)の診療にあたりました。

Bチーム

医師(川口雅裕)、看護師(杉原智子・森嘉緒史)、事務(村山弘三・水谷育雄)の計5名で、東白川郡の2つの村の避難所におられる方々(約200名)の診療にあたりました。



講習会・イベントのご案内

第81回 すこやかネットワーク 医療関係者向

日時: 5月16日(水) 19:00~20:00 テーマ: 『褥瘡の話』
場所: 松波総合病院 3階講堂 講師: 松波総合病院 形成外科部長 北澤 健先生

かかりつけ医院のご紹介

羽島郡 岐南町の やまうちクリニック

外科 脳神経外科 内科 整形外科
リハビリテーション科 頭痛・めまい外来



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:00~ 7:00	○	○	—	○	○	—	—

休診日 日曜日・祝日
〒501-6011
岐阜県羽島郡岐南町
八剣北5丁目79番1号
☎ 058-215-7771
FAX 058-247-7772

院長: 山内 克亮

当院ではMRIを駆使して脳卒中の予防に取組み、その原因となる成人病の治療を行います。また認知症の診断・治療、難治性の頭痛、めまいの治療も行います。
※MRI検査は随時受付致します。



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。

社会医療法人 蘇西厚生会
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町代185-1

患者さまと
病院をつなぐ
かけはし
No.151
MATSUNAMI

まつなみ

2012

5

発行
社会医療法人
蘇西厚生会

Clinical Talk

市民公開講座

『からだ』に『やさしい』がん治療 ～手術ロボットの進歩～ を開催しました。

市民公開講座『「からだ」に「やさしい」がん治療～手術ロボットの進歩～』(濃尾医療連携研究会主催・中日新聞社後援)が、3月31日(土)、岐阜市のじゅうろくプラザで開かれました。

この日は、はじめに当院の小林建司先生が「え?ロボットが手術するの?~大腸がん手術、腹腔鏡からロボット手術の時代へ~」というテーマで講演。続いて萩原徳康先生が「松波総合病院におけるロボット支援前立腺全摘除術の初期経験」について講演しました。実際に手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を活用してがん治療を行っている両医師からロボット支援手術の最新情報が



開会の挨拶をされる
濃尾医療連携研究会
前代表世話人 河合 潔先生

聞けるとあって、会場には多くの方々が来場。講演後の質疑応答でも多数の質問が寄せられるなど、市民の皆さんのがん治療に対する関心の深さを感じられました。

終了後のアンケートでは、「どんな優れた器械でも、使いこなせる優秀な人材が必要。今日は立派な先生が身近な所におられることを知り、とても頼もしくありがたく感じました」「早期発見が、がんへの特效薬であることを知った」「ダ・ヴィンチが地域プロジェクトで広く使用できるようになってほしい」「ロボットで行う手術のことを初めて知った。実際の手術の映像もあってわかりやすかった」など、有り難いご意見をたくさんいただきました。皆さまの貴重なご意見は、今後の市民公開講座や、当院の運営の参考資料として活かしてまいります。



講演する小林建司先生(松波総合病院 外科部長)



座長を務められた
小林 博先生
(岐阜県医師会会長)



講演する萩原徳康先生
(松波総合病院 泌尿器科泌尿器内視鏡手術部長)



座長を務められた
出口 隆先生
(岐阜大学 大学院 医学系
研究科 泌尿器科学教授)

からだにやさしい「ダ・ヴィンチ」とは?

「ダ・ヴィンチ」は最先端の内視鏡手術支援ロボットで、術者は3Dモニター画面を見ながら先端に鉗子やカメラが付いたロボットアームを遠隔操作して患部の切除や縫合などを行います。「ダ・ヴィンチ」手術のメリットは、開腹手術と比べて患者さまへの負担が少なく、その入院期間が短縮できること。術者にとっては、3D(立体)の拡大画像で良好な視野を得られること。また、今までの腹腔鏡はまっすぐな鉗子で直線的な動きしかできなかったのに対し、ダ・ヴィンチには手首があるため、狭い隙間でも先端の鉗子を自在に操ることができること。さらに手振れを防ぐ機能もあり、精密かつ確実に、そしてスムーズで安全な手術が行えることなどがあげられます。松波総合病院では2010年にダ・ヴィンチを導入。これまでに大腸がん手術を6例、前立腺がん手術を5例行い、いずれも成功しています。



ダ・ヴィンチの手術風景。手術を行う医師はロボット支援手術に必要な教育と訓練を十分に受けており、ライセンスを取得しています。

市民公開講座「からだ」に「やさしい」がん治療 ～手術ロボットの進歩～



「え？ロボットが手術するの？」～大腸がん手術、腹腔鏡からロボット手術の時代へ～ 要旨

松波総合病院 外科部長 小林 建司

1995年に大腸がんの腹腔鏡手術を開始。日本内視鏡外科学会：技術認定医(消化器・一般外科・大腸部門)として、岐阜県下の腹腔鏡手術を牽引する。

日本で増え続ける大腸がん

大腸がんは、長さ約2mの大腸(結腸・直腸・肛門)に発生するがんで、腸の粘膜から発生する悪性の腫瘍です。男女とも60代後半から増加し始め、高齢になるほど高くなります。死亡率に関しては1990年代半ばまでは増加し、その後は少しずつ減少傾向にあります。

早期発見・早期治療には「便潜血検査」が有効

便潜血検査を定期的に受けることが大腸がんの早期発見につながります。便潜血検査は便に潜血が混じっていないかを調べる検査で、簡単なわりに発見率が高く、大腸がんの早期発見が可能です。検査の結果が陽性なら、いぼ痔と思わず精密検査を受けましょう。大腸がんは早い時期に発見すれば、内視鏡的切除や外科療法で完全に治すことができます。

メリットが多い、大腸がん腹腔鏡手術

腹部を大きく切る開腹手術に変わり、小さな傷から内視鏡

カメラを挿入し、モニターを見ながら手術を行う腹腔鏡手術の割合が急速に増加しています。傷が小さくてすむため術後の痛みが少ない、術後の腸管の動きの回復が早い、癒着が少ない、出血が少ない、入院日数が短いなどメリットは多く、当院では現在大腸がん手術の約8割が腹腔鏡手術となっています。皆さんも、もし大腸がんで手術が必要となった場合は、まず腹腔鏡手術ができる病院かどうかを確認しましょう。

腹腔鏡手術をさらに進化させた「ロボット支援手術」

傷が小さく術後の早期回復が可能な腹腔鏡手術ですが、専用器具の操作や視野が限られ、高度な技術を要します。この課題をクリアし、より安全で緻密な手術を可能にしたのがロボット支援手術です。特に直腸がんにはロボット支援手術が適合しており、おそらく5年後には「直腸がんといえば、ダ・ヴィンチ手術」と言われる位にロボット支援手術が浸透しているでしょう。また結腸がんについては95%が腹腔鏡手術になっていると思います。



ダ・ヴィンチによる直腸がん手術



『松波総合病院におけるロボット支援前立腺全摘除術の初期経験』要旨

松波総合病院 泌尿器科泌尿器内視鏡手術部長 萩原 徳康

日本泌尿器内視鏡学会：泌尿器腹腔鏡技術認定医として数多くの腹腔鏡手術を手がける。

増え続けている日本人の前立腺がん

前立腺がんはかつては欧米で多いがんでしたが、高齢化や食生活の欧米化などに伴って日本でも急激に増え、2020年には罹患率、死亡率ともに肺がんに次いで多くなると予測されています。前立腺がんは初期には無症状のことが多く、症状を自覚した時には骨やリンパ節に転移していることも少なくありません。しかし、前立腺がんは早期に発見すればするほど完治が期待できますので、決して怖いがんではありません。

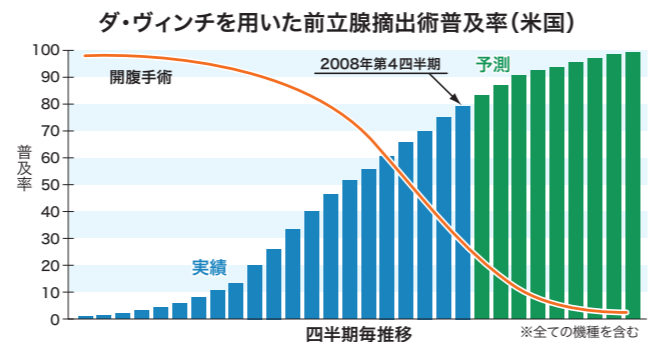
早期発見のきざし「PSA検査」

PSA検査は1cc以下の血液で簡単に測定ができ、前立腺がんの早期発見に有効です。前立腺がんは年齢が高くなるにつれて増えてきますので、50歳を過ぎたら年に1度はPSA検査を受けましょう。特に身内で前立腺がんになった人がいる方は要注意です。

からだにやさしいロボット支援前立腺全摘術とは？

前立腺の全摘手術は前立腺がんを根治させる基本的な

治療法です。この全摘手術をより安全・確実に行い、合併症の危険も低下させるのがダ・ヴィンチを使った手術です。アメリカではダ・ヴィンチによる前立腺全摘手術が従来の腹腔鏡手術や開腹手術より普及し、現在ではその80%がダ・ヴィンチによる手術です。当院で行ったダ・ヴィンチ手術5例でも、手術中の出血量が少なく、術後の尿失禁もみられません。また術後の回復も非常に早く、入院期間も短縮されました。



4月からダ・ヴィンチによる前立腺がん手術に保険が適用

日本でも今年4月からダ・ヴィンチを使った前立腺全摘手術が保険適用になり、今後さらに増えてくる可能性があります。欧米や韓国と同様にロボット支援手術がメインとなる日も、そう遠いことではないでしょう。

新任医師紹介

新しく当院の医師となった9名をご紹介します。

この4月から松波総合病院に新たに9名の医師が仲間入りしました。地域の皆さんのために精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。



心臓血管外科センター センター長
熊田 佳孝

心臓血管外科領域の岐阜医療圏での治療発展を目指します。よろしくお願いいたします。

経歴
1989年3月 岐阜大学医学部卒業
1996年7月 岐阜大学医学部集中治療部助手
1999年7月 医療法人偕行会名古屋共立病院 心臓血管外科



外科 副部長
柴田 直史

はじめまして。消化器外科、特に腹腔鏡を用いた手術で、地域の患者さまのお役にたてるよう、誠心誠意努力して参りますので、なにとぞ宜しくお願いいたします。

経歴
1993年3月 和歌山県立医科大学卒業
2007年2月 掛川市立総合病院 外科
2010年4月 NTT西日本東海病院 外科



リハビリテーション科 第二部長
大角 淳一

各科、各領域で急性期の早期離床から回復期の家庭・社会復帰、さらに在宅・施設での維持期までお手伝いいたします。専門的な対応が必要なときもご相談を承ります。

経歴
1989年3月 名古屋市立大学医学部卒業
2009年10月 あいちリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟
2011年4月 横浜新緑総合病院 回復期リハビリテーション病棟



消化器内科 副部長
樋口 正美

4月から勤務させていただいております消化器内科の樋口です。専門は消化器内科全般で、中でも胆道膵臓領域の診療を積極的に行っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

経歴
2000年3月 国立大学法人旭川医科大学卒業
2006年10月 竹田総合病院 消化器科
2011年7月 相澤病院 消化器病センター



整形外科 医長
岩田 崇裕

4月からお世話になります整形外科の岩田崇裕と申します。主に外傷を担当しつつ当科の得意とする関節外科を勉強させていただくことになると思います。宜しくお願いします。

経歴
2002年3月 国立大学法人旭川医科大学卒業
2006年4月 高山赤十字病院
2010年4月 揖斐厚生病院



内科 医員
山本 奈央子

高知県出身ですが、結婚を機に三重県に移り、昨年羽島市に引越し、4月より内科医員として勤務することになりました。わからないことも沢山ありますが、よろしくお願いいたします。

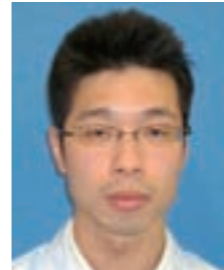
経歴
1999年3月 高知医科大学医学部医学科卒業
2003年5月 高知医科大学医学部附属病院 第二内科
2006年9月 医療法人山本総合病院 内科



麻酔科 医員
日向 隼人

はじめまして。麻酔科に配属になった日向と申します。地元も学校も県外で、岐阜には今回初めて来ました。病院にも地域にも早く慣れて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

経歴
2010年3月 大分大学医学部医学科卒業
2010年4月 大分市医師会立アルメイダ病院
2011年4月 大分大学医学部附属病院



救急医療センター 医員
前田 隼人

はじめまして。九州の大分県から来ました、3年目後期研修医前田隼人です。救急医療センターに所属します。まだ未熟者ではありますが、やれる限りの診療をしたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

経歴
2010年3月 大分大学医学部医学科卒業
2010年4月 大分赤十字病院



内科 医員
川村 亮

医師3年目です。総合内科後期研修としてお世話になることになりました。紙カルテの運用ははじめてで、いろいろご迷惑をおかけすると思いますが、早くシステムに慣れたいと思います。精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

経歴
2010年3月 金沢医科大学医学部医学科卒業
2010年4月 市立四日市病院